

新陳代謝論

高橋 久井

一行 4
新陳代謝

生命は最も大なる謎であり、生体は確かに宇宙の驚異
である。土に蒔かれた一粒の種子、左といふものは真珠の光
とく、宝石の値なきとは云へ、静かに思をめぐらす時、吾等
は其の物に於て、真珠よりも、宝石よりも、より驚く
べきもの、存在を認めずには居らんない。日曇り露潤す
時、其處に愛らしき双葉が芽さす。盛衰ともなく根が下ろす
れど、止む。太と。眼も醒めん計り美しき花を開く。枝もた
し、に實を結ぶ。彼れは命なり土より、命あり物を送る。終
終に枯死す。さうさうが常ん返る。これよつて、永遠に流る
也。一粒の種子、而して其の中へ長へり生命の力を秘め